

霧ヶ峰自然保護センター機能強化に関する取組スケジュール（案）

取組		概要	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降
1 質の高い自然体験プログラムの提供						
①民間ツアーデスクの設置	○民間ガイド事業者による質の高いプログラム(有料)の提供		事業手法検討 (市場対話、適宜試行)	公募・事業者選定	ツアーデスク運用開始	
②有料・無料プログラムの整理 (無料プログラムの見直し)	○センター職員による気軽に参加できる短時間プログラム(無料)の充実		無料プログラムの拡充		※自然体験のきっかけづくりとして範囲と時間を限定して実施	
③霧ヶ峰の多彩な魅力を活かしたプログラム造成支援	○環境保全研究所との連携により霧ヶ峰の価値の「掘り起し」と「見える化(散策モデルコース設定、HPによる情報発信)」		自然価値の掘り起し、見える化	成果反映	価値の発信	
2 地域の総合的な情報発信・提供機能の強化						
①民間事業者との連携による観光情報等の提供	○エコツアー情報の一元化、SNS活用、関係機関との連携によるリアルタイム情報の発信		センター職員による情報発信(観光協会、ガイド事業者、ツアーデスク等と連携による情報集約と発信)			
②利用ステージに応じた情報提供	(ワンストップサービス機能の強化)					
3 霧ヶ峰の魅力を伝える展示等の充実						
①最新の知見等を反映可能な展示フレームの改修			詳細検討	設計	工事	リニューアル完了
②悪天候でも霧ヶ峰を楽しめる映像展示の充実						
③利用者をフィールドへと誘うリアルタイムの情報発信						
④展示等の多言語対応						
⑤簡易補修、故障対応の負担軽減						
4 ガイド人材の育成						
①霧ヶ峰インタープリター養成制度と連携したガイド研修の実施	○霧ヶ峰インタープリター養成講座修了生のスキルアップを図るためのフォローアップ研修		フォローアップ研修の開催			
5 エコツアー関係者の交流・連携体制の構築						
①エコツアー関係者の連絡・調整の場の確保			エコツアー関係者の連絡・調整の場の確保、情報共有等			
②霧ヶ峰のエコツアー一覧の共同作成						
6 センター及び周辺フィールドの整備						
①アプローチデッキ等の設置によるエントランス性の強化(誘導路の設置)			詳細検討	設計	工事	リニューアル完了
②草原を望む休憩テラスの拡張						
③センター周辺歩道への誘導及び歩道の魅力向上	○歩道起点への誘導強化 ○歩道のユニバーサル園路化		※事業化検討			
④Free Wi-Fiの導入	○来訪者(特に外国人旅行者)によるインターネットでの情報収集やSNS等での情報発信を促進。		導入	運用		

取組	概要	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降
7	自然環境の保全・再生				
	①ニホンジカの食害防止等による魅力ある体験フィールドの創出		電気柵設置(周辺園地の植生を復元)		
	②参加体験型の外来種駆除や草原管理		外来種駆除や草原再生イベントの開催		
	③保全・再生活動についての情報発信		上記7①②の取組や成果の情報発信、展示内容等に反映		
8	近隣施設等との連携				
	①近隣ビジターセンターや観光協会等との連携による各ビジターセンター案内冊子等の共同作成		※事業化検討		
	②山麓の観光案内所等との連携		周辺観光施設との調整・情報発信		
9	多様な主体の参画による管理運営体制の強化				
	①多様な主体の連携による管理運営体制の構築	霧ヶ峰自然保護センター 連絡会議(仮称)の設立、 関係機関の役割分担検討	連絡会議を中心とした管理運営 (連携・協働による上記1~9の取組の推進)		
	②地域に精通した職員の確保		センター職員の雇用期間延長等の検討		